

平成29年6月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者13名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	<p>1 閑上地区に整備予定のスポーツエリアについて</p> <p>2 市民・来訪者へのおもてなしについて</p>	<p style="text-align: right;">6番 荒川 洋平</p> <p>(1)本市が整備・管理している市内のスポーツグラウンド及び多目的グラウンドの数と利用状況は。</p> <p>(2)閑上地区のスポーツエリアについては、平成29年度に計画策定を予定しているとのことだが、現在の進捗状況は。</p> <p>(3)閑上地区の住民や、市内外の多くの高齢者の健康増進施設として、また閑上東地区の交流人口拡大のため、今後整備予定のスポーツエリアにパークゴルフ場を整備すべき。</p> <p>(4)パークゴルフ場と合わせ、2020年の東京オリンピックから正式種目となるスケートボードの競技場を整備してはどうか。</p> <p>(1)本市に来訪された方へのおもてなしの一つとして、また市外へのPRのため、本市のノベルティグッズをつくってはどうか。</p> <p>(2)市職員の名札を見やすく改善すべき。</p>	<p>市長 教育長 市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長 市長</p>	
2	<p>1 選挙事務について</p> <p>2 閑上小・中学校の教育計画について</p> <p>3 職員と利害関係者等との接触について</p>	<p style="text-align: right;">5番 吉田 良</p> <p>(1)個人単位で行っている投票所入場券の配付方法を封書などによる世帯単位に変更すべき。</p> <p>(2)期日前投票の受付事務の簡略化のため、投票所入場券に宣誓書記入欄を設けるべき。</p> <p>(3)有権者の投票の機会を広げるため、期日前投票所をふやすべき。</p> <p>(4)市長選挙で記号式投票を導入すべき。</p> <p>(5)当選者への通知は深夜に行わず開票翌朝に行うべき。</p> <p>(1)遠距離通学者への配慮として登校時間をおくらせ、年間計画の工夫等により授業時数を確保すべき。</p> <p>(2)修学旅行を首都圏方面に限定せず、飛行機の利用等特色ある行程の設定を認めるべき。</p> <p>(3)部活動における他校との合同チームを想定しているとのことだが、具体的な方法を伺う。</p> <p>(4)部活動指導員に係る規則等を整備し、指導員の活用によって、生徒が部活動を通じ自己実現を果たす機会を広げるべき。</p> <p>(1)職員が利害関係者等と接触することに関する規定の整備状況を伺う。</p> <p>(2)管理職と利害関係者等との接触について、上司に報告する範囲を明確にすべき。</p>	<p>選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会委員長</p> <p>教育長 教育長 教育長 教育長</p> <p>市長 市長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	4 いじめの現状と対策について	(1)市内小中学校におけるいじめの現状把握について伺う。 (2)いじめによる自殺事案等の問題に対し、誰が最終責任者であると捉えているのか伺う。 (3)児童生徒によるSNS等のインターネット利用について、情報収集と指導の現状を伺う。 (4)いじめから身を守るための欠席は、一定の条件を満たせば出席扱いとすべき。	教育長  市 長 教育長 教育長  教育長	
3	1 自転車の交通事故防止について  2 水難救助体制について	7番 大友 康信 (1)区画線、道路標示等は、通行の安全確保のため、はっきりと確認できる状態であるべきと考える。これまでの陳情や要望で把握している該当する路線の延長と、現在の取り扱い及び今後の取り組みを伺う。 (2)区画線等の整備状況については、接続する国道や県道と同じような状況にあるべきと考えるがどうか。 (3)道路の拡幅や路面整備などとの同時施工では、整備を進めるのは難しいのではないかと。区画線や道路標示の維持管理に係る予算を別枠で確保し、事業を進めるべき。 (4)本市の自転車の交通事故は増加しており、人口増や環境変化により自転車通行の環境整備は緊急の課題である。道路管理者として危機感を持って管理責任を果たすべき。  (1)閑上地区で発生した車両水没事故について、本市はどのように対応したのか。水難救助の検証と課題について伺う。 (2)舟運事業、閑上ビーチ、釣り人、サーフィンなどで訪れる交流人口の増加に向けて、水辺の安全確保のため、救助体制の構築など、対応可能な連携の充実と強化を図るべき。	市 長  市 長 市 長  市 長  消防長  市 長 消防長	
4	1 がん対策について	20番 菊地 忍 (1)がん患者の雇用の継続や円滑な就職に資するよう、事業主にがん患者の就労に関する啓発や知識の普及を図るべきと考えるがどうか。 (2)がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育や社会教育におけるがんに関する教育を推進すべきと考えるがどうか。 (3)がん患者が円滑な社会生活を営むことができるよう、医療用ウイッグ購入費の助成を行うべきと考えるがどうか。 (4)がん検診の受診率の向上に資するよう、がん検診に関する普及啓発とともに、無料クーポンの発行や自己負担金の見直しを図るべきと考えるがどうか。	市 長  教育長  市 長  市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
		<p>(5)中学生を対象に、胃がんの主な原因となるピロリ菌の有無を検査し、胃がんのリスクを早期に取り除く事業が全国の自治体で始まっている。本市でも実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>(6)乳がんは、日常の健康管理の一環としてのセルフチェックによって発見される場合がある。大阪府寝屋川市では30歳になる方を対象に、素手よりも異常を感じやすくなる自己検診補助グローブの配付を平成29年度より始めた。本市でも実施すべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>	
5	1 国民健康保険制度の都道府県単位化について	<p style="text-align: center;">16番 小野寺美穂</p> <p>(1)県に対し、事業費納付金標準保険料試算の公表を早急にするよう求めるべき。</p> <p>(2)2018年度以降も現在以上に保険税を上げるべきではない。</p> <p>(3)財政的責任の主体となる県において県民への影響を勘案し、一般会計法定外繰入や保険料決定など、市町村における独自権限を侵害しないよう求めるべき。</p> <p>(4)準備が整わないまま拙速な実施はせず、場合によっては延期も検討するよう求めるべき。</p> <p>(5)国に対し、負担感が強い保険税の是正、国民健康保険制度の安定的な運営のため、十分な財政措置を検討するよう求めるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
6	<p>1 被災者支援について</p> <p>2 緊急通報システム事業について</p>	<p style="text-align: center;">4番 菅原 和子</p> <p>(1)美田園北団地では地域コミュニティ再生支援事業補助金を活用し地域の交流を図っているが、補助期間は最長3年である。期間の延長を働きかけるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2)閑上地区に住宅を再建した方、復興公営住宅に入居された方より、医療機関の早期開設を望む声がある。巡回診療所を開設するなど、地域住民の不安解消を図る取り組みを実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)復興公営住宅入居者から風が強く砂が舞うとの声が多い。風を防ぐための街路樹を植栽すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4)復興支援バスに対する不満の声も多い。住民ニーズを踏まえたコースの見直しが必要と考えるがどうか。</p> <p>(1)本市のひとり暮らし老人等緊急通報システム事業は、対象者が病弱なひとり暮らし老人となっている。持病がある日中独居の方も対象とすべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	3 1歳8カ月 児健診について	(1)発達が気になりな子どもを早期に支援につなげることを目的として、1歳8カ月児健診で社会性発達評価用視線計測装置を導入すべきと考えるがどうか。	市 長	
7	1 水田農業の 確立について  2 信頼される 市政運営につ いて	18番 山口 實 (1)国主導で実施してきた生産調整（減反政策）が平成30年産米から廃止となる。新たな米生産の考え方を伺う。 (2)水田利活用で麦・大豆・飼料米等の戦略作物を生産する農家や組織に対し、所得の安定を図るため国に対して交付金の確保を要望すべき。 (3)主食用米の需給調整は、産地の自主的な取り組みとなる「農業改革」を転機に、制度移行を円滑にするための集団化（農地の集積化）を進めるべき。 (4)震災後に農業法人化された団体が5組織ある。経営者として自立するための指導・助言を積極的に行うべき。  (1)公約で示された市内の均衡ある発展のため、最初に取り組まなければならない課題をどのように捉えているのか。 (2)各地域に点在する狭隘道路の整備を早期に推進すべき。その具体的な手法を伺う。	市 長  市 長  市 長  市 長  市 長	
8	1 宮城県の水 道事業官民連 携運営につ いて  2 障害者差別 解消法につ いて  3 訪問入浴 サービス事業 の利用回数 について	3番 齋 浩美 (1)上工下水の「みやぎ型管理運営方式」の目的と仕組みについて伺う。 (2)上水道料金の算定方式に変更はあるのか。 (3)本市へのメリットとデメリットを明らかにすべき。 (4)市民の命に直結する上水道事業の運営権に、「みやぎ型管理運営方式」を導入することで、市民の利益に影響があると考えますが、見解を伺う。  (1)障害者差別解消法施行を受けた、本市の対応要領の策定の状況について伺う。 (2)障がい者の社会参加や障害者差別解消法の観点から、次回の「障がい者を対象とした市職員採用試験」から受験資格を見直すべき。  (1)なぜ「原則1週間に1回」なのか伺う。 (2)人権や公衆衛生の観点から、週に複数回以上に改めるべき。	市 長  市 長 市 長  市 長  市 長  市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
9	1 宮城県立名取支援学校分校の設置について	1 番 大泉 徳子 (1)平成31年4月に不二が丘小学校内に開校する宮城県立名取支援学校分校について、校舎及び敷地内をどのように改修するのか伺う。 (2)分校の受け入れに当たり、多様な学びの場の整備として、不二が丘小学校周辺の自然環境を生かした「緑の広場」の再整備や校庭の整備を行うべき。 (3)「共に学ぶ」という視点から、支援学校と不二が丘小学校、地域の協働教育を生かし、インクルーシブ教育の構築を図るべき。	教育長 教育長 教育長	
10	1 職員の誇りある働き方について  2 教員の長時間勤務と部活動問題について	1 2 番 大沼 宗彦 (1)嘱託職員の総数と過去数年間の雇用状況の変化を伺う。 (2)嘱託職員の身分と賃金の改善状況は。 (3)嘱託職員の正職員化を進めるべき。 (4)職員の残業時間、労働時間の実態把握をどのように行っているのか。 (5)ノー残業デー、プレミアムフライデーを推進すべき。  (1)2016年に実施された、文部科学省の教員勤務実態調査から見える、市内小中学校の特徴は。 (2)勤務時間内での教材研究や授業準備、また生徒指導や進路指導などで生徒と向き合う時間は適切に確保されているのか。 (3)宮城県教育委員会が策定した「部活動での指導ガイドライン【暫定版】」を受け、市内各校における取り組み状況は。 (4)外部指導者及び部活動指導員を活用すべき。 (5)教員の負担軽減を目的とした、部活動への複数顧問の配置をすべき。 (6)教員に対するスポーツ科学に基づく実践講習の機会を設けるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長  教育長 教育長 教育長 教育長 教育長 教育長	
11	1 地域活動について	10 番 村上 久仁 (1)防災活動、要支援者避難行動、美化などの自治会活動は、地域づくりに欠かせない組織となっているが、現状と課題についてどのような認識を持っているのか伺う。 (2)市役所内に多数ある自治会対応窓口を一本化すべきと考えるが、その見解を伺う。 (3)地域活動を行っている団体として、自治会のほかに各種団体があるが、行政とのかかわりについて現状を伺う。	市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 防災ラジオについて	(4)地域づくりを担っている各種団体には、活動費の助成を行うべきと考えるが、その見解を伺う。  (1)防災ラジオの有償配布について、市のホームページに掲載されているが、配布状況等の現状について伺う。 (2)緊急放送は、室内で過ごす時間帯が多い方々にとっては、防災無線と同様に有効な手法であり、そのためにも委託先であるNPO法人エフエムなとりの継続した事業運営が必要不可欠である。市としても事業運営に積極的に関与すべきと考えるが、その見解を伺う。	市 長  市 長  市 長	
1 2	1 第10次名取市交通安全計画について  2 名取市自転車利用環境整備計画について	14番 長南 良彦 (1)第9次名取市交通安全計画の成果と課題を伺う。また第10次の重点施策は何か。 (2)高齢者及び子供の安全確保の取り組みについて、整備すべき箇所を選定し、年次計画を策定すべき。 (3)歩行者及び自転車の安全確保のための歩行空間の確保と交通安全教育実施の平成29年度目標を伺う。 (4)災害に備えた道路交通環境の整備について、市内のアンダーパスの現状と対応策を伺う。 (5)高齢者に対する交通安全教育の推進で、指導担当者の現状と家庭訪問による個別指導方法を伺う。 (6)救助・救急活動の充実に関し、事故現場からの緊急通報体制の整備内容を伺う。  (1)宮城県農業高等学校の移転に対応した安全で快適な自転車利用環境の確保の整備計画を伺う。 (2)宮城県農業高等学校の生徒へ名取駅からの自転車通学ルート指定を働きかけ、周辺団地住民の安全確保に努めるべき。	市 長  市 長  市 長  市 長  市 長  市 長  市 長	
1 3	1 閑上の防風対策について  2 公文書管理の取り組みについて  3 廃棄物処理について	2番 大久保主計 (1)海からの潮風、山からの木枯らしなど、閑上の街を強い風から守る「いぐね」のような対策を図るべき。  (1)第五次名取市行財政改革大綱による文書管理システムの導入、名取市第五次長期総合計画による新図書館、歴史民俗資料館の整備を進めるこの時期に、公文書管理法の趣旨を踏まえた施策に取り組むべき。  (1)放射能汚染廃棄物の焼却処分については、安全性の不安から棚上げとなり、反対運動も活発である。本市は、当該処理方法の危険性を鑑み、亘理名取共立衛生処理組合に対して見直しを提案すべき。	市 長  市 長  市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	4 防災・危機 管理体制の強化 について	<p>(2) 市長は、管理者会議の最終処分場に係る方向性に「やむを得ない」としているが、公約に掲げた早期解決策を亘理名取共立衛生処理組合に提示し協議すべき。</p> <p>(3) 廃棄物処理について、中長期的な本市の考え方を亘理名取共立衛生処理組合に示すべき。</p> <p>(1) 市内組織体制の標準化に取り組み、関係機関との迅速な連携体制を図るべき。</p> <p>(2) 災害時応援協定の現状と課題を明らかにして、その充実と連携強化に取り組むべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	